

NII

# 湘南会議

SHONAN MEETING

## アジア初「ダグstuhlスタイルの会議」

NII湘南会議は、世界トップレベルの研究者が集まり、情報学分野における未解決問題を合宿形式で集中的に議論する場です。情報学の難問を解決するために叡智を分け合うとともに、未来に貢献する価値を創成し、情報学の発展に寄与することを目指します。

1

### セミナーのオーガナイザの仕事は、トピックの提案と参加者の招集

セミナーのオーガナイザは、セミナーのトピックを選び、そのトピックに関して十分に議論できる参加者を選出することに専念していただきます。招待状の送付や宿泊手配などの事務作業はNII湘南会議のスタッフがサポートします。

- 学術審査委員会の審査を通過したセミナー企画をもとに開催されます
- オーガナイザは第一線で活躍する研究者から構成され、アジアからのオーガナイザが必ず1名含まれます
- オーガナイザが作成するセミナー招待者は、学界・企業から構成されます



2

### アジアで世界トップクラスのセミナー 現在進行中の問題を話し合う

NII湘南会議には事前に決められたプログラムはありません。また、参加者はあらかじめ論文やプレゼンテーション資料を提出する必要はありません。参加者による議論の中で具体的なプログラムが形成されていきます。参加者には自分の研究やアイデアを積極的に提示することが求められます。



3

### セミナーに集中できる環境

NII湘南会議の開催は、神奈川県と協定を結び、連携協力して実施しています。会場となる湘南国際村センターは、東京の喧騒から離れた葉山の丘の上であり、眼下に相模湾、遠くに富士山を望む、セミナーに集中できる素晴らしい環境です。また、宿泊や会場手配、設定価格、エクスクーションなど、湘南国際村センターとは一貫した支援体制を整えています。

### ダグstuhl (Dagstuhl) とは?



情報学における世界トップレベルのセミナー。ドイツのダグstuhlで毎週のように開催されている。約1週間、合宿形式で、トピックに基づいた議論を集中的に行うことで有名。

### Call for Proposals

#### セミナー企画公募中!!

NII湘南会議では、セミナー企画の公募を随時行っています。毎年6月15日、9月15日、12月15日までに応募いただいた企画案を学術審査委員会において審議させていただきます。

応募の詳細は、下記WEBサイトをご覧ください。

<http://www.nii.ac.jp/shonan/>

皆様のご応募をお待ちしております。

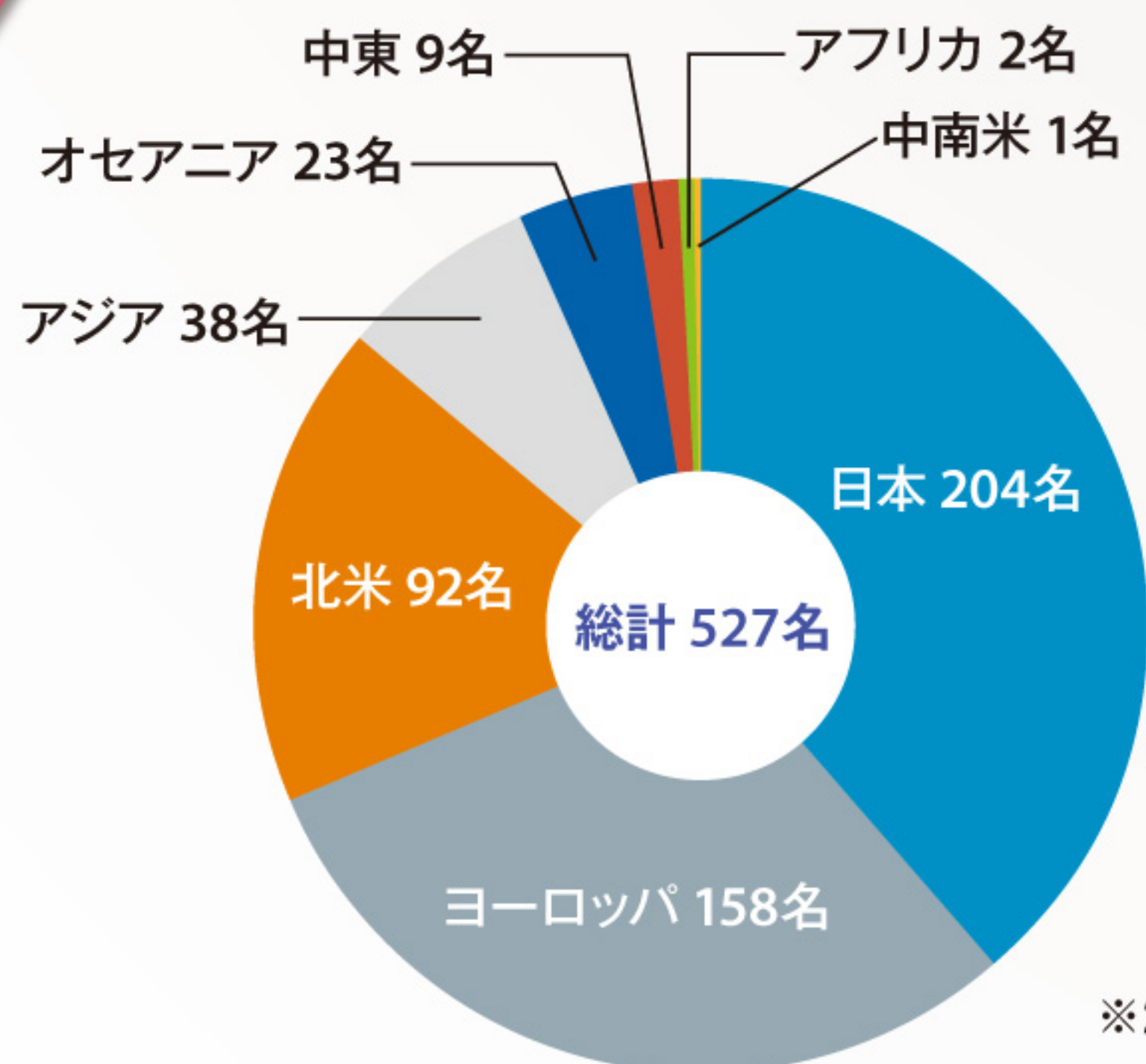


■平成24年度開催一覧

セミナー名	開催日	オーガナイザ	参加人数
Hybrid Systems: Theory and Practice, Seriously	2012年 4月23~26日	Ichiro Hasuo (University of Tokyo, Japan) Takuro Kutsuna (Toyota Central R&D Labs, Japan) Toshimitsu Ushio (Osaka University, Japan)	21
Engineering Autonomic Systems (EASy)	2012年 5月15~17日	Arosha K. Bandara (Open University, UK) Shinichi Honiden (National Institute of Informatics, Japan) Yijun Yu (Open University, UK)	17
Bridging the theory of staged programming languages and the practice of high-performance computing	2012年 5月19~22日	Oleg Kiselyov (Monterey, CA, USA) Chung-chieh Shan (Cornell University, USA) Yuki Yoshi Kameyama (University of Tsukuba, Japan)	24
Parallel Methods for Constraint Solving and Combinatorial Optimization	2012年 5月28~31日	Philippe Codognot (JFLI - CNRS/UPMC/University of Tokyo, Japan) Kazunori Ueda (Waseda University, Japan) Hiroshi Hosobe (National Institute of Informatics, Japan)	29
A meeting of IT-enable Services (ITeS)	2012年 7月30日~8月2日	Yu-Hui Tao (National University of Kaohsiung, Taiwan, China) Nagul Cooharajanano (Chulalongkorn University, Thailand) Shiro Uesugi (Matsuyama University, Japan) Hitoshi Okada (National Institute of Informatics, Japan)	19
Whole-Session Evaluation of Interactive Information Retrieval Systems	2012年 10月9~12日	Nicholas J. Belkin (Rutgers University, USA) Susan Dumais (Microsoft Research, USA) Noriko Kando (National Institute of Informatics, Japan) Mark Sanderson (RMIT University, Australia)	23
Grid and Cloud Security: A Confluence	2012年 10月15~18日	Barton Miller (University of Wisconsin, USA) Elisa Heymann (Universidad Autónoma de Barcelona, Spain) Yoshio Tanaka (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Japan)	22
The Future of Multimedia Analysis and Mining (共催:日本電信電話株式会社)	2012年 11月3~6日	Alexander G. Hauptmann (Carnegie Mellon University, USA) Nozha Boujemaa (INRIA, France) Shinichi Sato (National Institute of Informatics, Japan)	21
Quantitative methods in security and safety critical applications	2012年 11月9~12日	Jin-Song Dong (National University of Singapore, Singapore) Annabelle McIver (Macquarie University, Australia) Carroll Morgan (University of New South Wales, Australia)	24
NII Shonan Configurable Computing Workshop	2012年 11月12~15日	Peter Athanas (Virginia Tech, USA) Brad Hutchings (Brigham Young University, USA) Kentaro Sano (Tohoku University, Japan)	22
Social Issues in Computational Transportation Science	2012年 12月17~20日	Ouri Wolfson (University of Illinois at Chicago, USA) Monika Sester (Leibniz Universität Hannover, Germany) Stephan Winter (The University of Melbourne, Australia) Glenn Geers (National ICT Australia, Australia) Masaaki Tanizaki (Hitachi, Ltd., Kyoto University, Japan)	16
Multi-activity in interaction: a multimodal perspective on the complexity of human action	2013年 2月18~20日	Lorenza Mondada (Basel University, Switzerland) Aug Nishizaka (Meiji-Gakuin University, Japan) Mayumi Bono (National Institute of Informatics, Japan)	28

地域別参加者

日本の研究者を始め、海外からも  
トップレベルの研究者が参加しています。



※2013年5月現在

参加者  
滞在国  
一覧

アイルランド	オランダ	中国	フィジー
アメリカ	カナダ	デンマーク	フィンランド
イギリス	韓国	ドイツ	フランス
イスラエル	ギリシャ	トルコ	ベルギー
イタリア	シンガポール	ナミビア	ポルトガル
インド	スイス	日本	メキシコ
エストニア	スウェーデン	ニュージーランド	レバノン
オーストラリア	スペイン	ノルウェー	ロシア
オーストリア	タイ	ハンガリー	
オマーン	チェコ		